

記 事

例会案内

日本医史学会 10月例会

令和3年10月23日(土)
オンライン開催

1. 本居宣長の医学文書と一字薬名

吉川澄美 東京都

本居宣長の『方剂歌』や配剤記録の『济世録』には一字の薬名が多用されている。一方、富士川文庫には200書目以上の本文に一字薬名が使われており、これらの調査結果を報告する。

2. 第27回富士川游学術奨励賞 受賞記念講演

白隠禅師の仮名法語にみる「健康」の語の使用
平尾真智子 健康科学大学看護学部
江戸時代後期の白隠禅師の仮名法語のなかに「健康」の語の使用が16箇所あった。健康の語は1751年から使用されていた。

日本医史学会 11月例会

令和3年11月27日(土)
オンライン開催

1. 徳川幕府の本草政策と『東医宝鑑』の受容

吉村美香 愛知淑徳大学

許俊(ホ・ジュン)の監修した『東医宝鑑』は、ユネスコ世界記憶遺産に登録されている唯一の医学書である。この医学書は江戸時代、徳川吉宗政権下で日本にもたらされたが、その過程や背景、また日本版東医宝鑑について考察する。

2. 『彌性園方函』引用医書についての考察

三鬼丈知 大谷大学

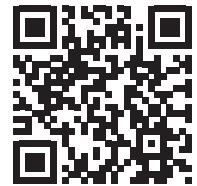
『彌性園方函』に引用される日中医学書について、彌性園蔵書と比較しつつ整理し、この処方集の成立と意義について考察する。

六史学会 合同12月例会

中止

以上は変更の可能性がありますが、必ず開催直前に医史学会のサイトをご確認ください。

<http://jsmh.umin.jp/events.html>



しばらくはZoomを用いたオンライン開催を継続いたします。参加方法については、jsmh@juntendo.ac.jpにお問い合わせください。

また、昨今の情勢下、新たに例会委員会を組織し例会の運営方法について随時検討中です。